

H27-③ 「指定管理者制度の現況分析と効果的・継続的なインセンティブ付与」に関する調査研究

調査項目 「指定管理者制度の現況分析と効果的・継続的なインセンティブ付与」に関する調査研究
調査年次 平成27年度（9次調査）
目的 本調査では、指定管理者制度を導入している公園における収益施設の管理・運営状況や公園の属性（公園種別〔規模〕や公園施設〔主にスポーツ施設や便益施設〕、立地特性、利用者数、指定管理料・利用料金など）を整理するとともに、制度導入による職員の配置、専門職としての技術力の向上等、現状における課題や問題点について討議を行い、今後の指定管理者制度の見直しや新規導入の検討に資するため、指定管理者による特徴的な自主事業の事例及び指定管理者へのインセンティブについて調査を行った。
概要 以下の内容について調査を行った。 ①指定管理者制度運用の実態調査 ②先進事例の調査 ③公園類型化と指定管理者制度のあり方 の検討
結果 今回のアンケート調査では、公園の種別により指定管理者制度の導入効果に差があり、有料施設がある比較的規模の大きい公園では効果が期待でき、規模の小さい街区公園などでは制度導入の効果が発揮されない傾向にあることがわかった。 一方、有料施設のない公園においても、便益施設の設置や有料イベントの実施、指定管理の公平な評価とホームページでの公表などがインセンティブとして効果的で、維持管理の品質向上、利用者サービス向上、利用者増などにつながることもわかった。
課題 今後、公園施設をそれぞれの設置目的にあった快適な公共空間として市民に継続的に提供していくために、また、公園の魅力をアップするために指定管理者制度を活用する課題としては、以下の項目が挙げられる。 ・指定管理者の収益について、インセンティブと公園還元を両立させる方策 ・適正な指定管理料の設定 ・公の施設の運営をより効果的、効率的に民間能力を活用していくための条例等制度の在り方 ・民間企業における「公の施設」に対する理解を高めるための方策 など
調査結果の反映等
キーワード 利用料金制度、民間活力、有料施設
事例公園等 大阪市「大阪城PMO事業」、名古屋市「久屋大通り庭園フラリエ」